

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	ファミリーサポートセンター運営事業	会計	一般会計	事業No.	167	施策順No.	37-013
		事業種別	政策・その他	予算科目	3-2-8-11-1		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	子育て支援課		
施策	37 子どもを産み育てやすい環境の充実			事業期間	開始	13	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファミリーサポートを必要としている依頼会員</li> <li>ファミリーサポートを提供しようとする協力会員</li> </ul>						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		依頼会員数(両方会員を除く)	598	664	639	361	360		
		協力会員数(両方会員を含む)	451	608	549	373	370		
意図		<ul style="list-style-type: none"> <li>依頼会員が仕事と家庭の両立ができるようにする。</li> <li>子育てを地域で助け合う活動ができるようにする。</li> </ul>							
対象をどう変えるか		事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		ファミリーサポート活動の実施件数	7994	7166	7215	1900	2156	2000	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	事務事業を子育て支援と生活支援に分割して実施。市広報、地域情報誌、子育て支援情報冊子などを利用して、市民への周知活動を行なった結果、前年度約1900件だった子育て支援分の実施件数が約250件増加した。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭での育児を支援するため、支援を必要とする人(依頼会員)と支援活動を行うことのできる人(提供会員)とを結びつけて、在宅支援を行う事業。</li> <li>社会福祉協議会にファミリーサポートセンターの運営を委託している。</li> <li>平成17年度から次世代育成支援対策交付金対象事業となった。</li> <li>平成22年度から子育て支援と生活支援の事業に分割した。</li> </ul>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	社会福祉協議会に対して、育児支援に関する次のファミリーサポートセンター事業を委託する。 1 広報活動とファミリーサポート会員の募集 2 会員に対する講習会等の開催 ファミリーサポーターへの講習会の実施 養育支援家庭訪問員養成講座事業の実施 3 会員のファミリーサポート活動のコーディネート	1 コーディネーター 2 会員数 3 活動数	1 1.3人 2 734人 3 2,156回
23年度実施計画	社会福祉協議会に対して、育児支援に関する次のファミリーサポートセンター事業を委託する。 1 広報活動とファミリーサポート会員の募集 2 会員に対する講習会等の開催 ファミリーサポーターへの講習会の実施 養育支援家庭訪問員養成講座事業の実施 3 会員のファミリーサポート活動のコーディネート	1 コーディネーター 2 会員数 3 活動数	1 1.3人 2 700人 3 2,000回

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金		2,138	2,138	2,138	
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源			2,139	2,139	2,139	
計(A)		4,277	4,277	4,277		
	正規職員所要時間			30		
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)			107		
	トータルコスト A+B			4,384		

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所等の保育サービスでは対応できない部分に対応することができ、市民ニーズは高い。</li> <li>議会でも推進すべきとの一般質問があった。</li> <li>制度を知らない人が多いので、もっとPRすると良い。</li> </ul>
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	子どもを産み育てやすい環境の充実	施策の成果指標又はムツ指標	子どもを育てやすい社会環境であると感じている対象者の割合(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのような貢献しましたか	4年間の振り返り	有償福祉サービスによる在宅育児支援を行なうことにより、仕事と家庭生活の両立、育児不安の解消につながった。また、地域での助け合い活動の輪を広げることができた。		
	後期に向けた課題	子育て家庭の収入が減少しており、支援に対する報酬の支払いが困難な家庭が増加している。生活困窮家庭への支援策が必要である。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	事業の周知を図り、利用につなげるため、地域情報誌への掲載、ケーブルテレビ広報番組の利用、子育て支援情報冊子の家庭配布などを行なった。		
	後期に向けた課題	子育て家庭の収入が減少しており、支援に対する報酬の支払いが困難な家庭が増加している。生活困窮家庭への支援策が必要である。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	子育て支援と生活支援事業双方を同じファミリーサポートセンターで運営することにより、協力会員の確保とコーディネーター事業の効率化を図っている。		
	後期に向けた課題	子育て家庭の収入が減少しており、支援に対する報酬の支払いが困難な家庭が増加している。生活困窮家庭への支援策が必要である。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	有償福祉サービスについては、受益者である子育て家庭が負担をしている。市はファミリーサポートセンターを社会福祉協議会に委託。ファミリーサポートセンターは、依頼会員と協力会員のコーディネート・協力会員の養成のみを行なっており、市及び社会福祉協議会の関与は適切である。		
	後期に向けた課題	子育て家庭の収入が減少しており、支援に対する報酬の支払いが困難な家庭が増加している。生活困窮家庭への支援策が必要である。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	市はファミリーサポートセンターを社会福祉協議会に委託。ファミリーサポートセンターは、依頼会員と協力会員のコーディネート・協力会員の養成のみを行なっている。協力会員と依頼会員の相互による有償福祉サービスである。市は事業の立ち上げ、周知、協力会員の育成等に努めており、仕事と家庭生活の両立、育児不安の解消につなげてきている。		
	後期に向けた課題	子育て家庭の収入が減少しており、支援に対する報酬の支払いが困難な家庭が増加している。生活困窮家庭への支援策が必要である。		
全体を通じて	4年間の振り返り	有償福祉サービスによる在宅育児支援を行なうことにより、仕事と家庭生活の両立、育児不安の解消につながった。また、地域での助け合い活動の輪を広げることができた。		
	後期に向けた課題	子育て家庭の収入が減少しており、支援に対する報酬の支払いが困難な家庭が増加している。生活困窮家庭への支援策が必要である。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	--	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--